

平成28年 第一回定例会

町長所信表明



湯浅町長 上山 章 善

本日ここに、平成28年第一回定例会を招集させていただきますところ、議員各位におかれましては、ご出席賜り厚くお礼申し上げます。

先月、平成27年国勢調査における速報値が発表され、和歌山県人口が高度経済成長期の昭和30年以降に実施した調査では初めて100万人

を割り込み、人口減少率も過去最大を記録したことが明らかになりました。

本町の速報値は12,205人で、前回の調査から約1,000人の大幅な減少となりました。人口減少は全国的な問題ではありますが、特に本町の減少率が高く、県平均の3.83%を大きく上回る7.61%となっております。このことに対応すべく、将来の湯浅町のビジョンをしつかりと見据えた上で、昨年の秋に策定した過疎地域自立促進計画及び湯浅町版総合戦略に定められた地域活性化や子育て支援をはじめとする様々な取組みを展開してまいりたいと考えております。

また、特に今回の補正予算の中にもあります人口減少や少子高齢化という構造的な課題に真正面から立ち向かうための施策の1つとして、

国の地方創生加速化交付金を活用した「ゆあさ地方創生観光まちづくり推進事業」を実施することとしました。

これは、観光客のワンストップ化を実現することなどにより利便性の向上を図り、また、地域のブランド化をなお一層推進していくことによつて、歴史文化のまち湯浅町の魅力を大いに活用して、観光振興によるまちの活性化を進めることを目的とした事業であります。

一方、湯浅の歴史的な魅力を高めるため策定を進めていた「湯浅町歴史的風致維持向上計画」ですが、国への認定申請を2月末に行い、3月28日に国土交通省において、3省庁による認定を受ける予定となっております。

この計画を策定することにより、日本遺産認定に向けたステップにもなりますので、今後、



醬油醸造文化や防災対策の歴史などをテーマとして、申請に向けた取組みを本町だけでなく、広川町などとも連携して進めてまいりたいと考えています。

さて、近隣住民の方々にはご迷惑をおかけしているところではございますが、現在、旧庁舎の解体を8月下旬の完了を目指して行っているところです。また、これと同時に庁舎跡地の活用をはじめとする、まちなかの整備を図るため「湯浅駅周辺等整備基本方針」のとりまとめを進めているところです。

さらに町としましては、この基本方針を踏まえた上で、駅周辺を中心とした集約型のコンパクトなまちづくりの推進に取組むため、「立地適正化計画」の策定に着手していきたいと考えております。

これにより、駅におけるバリアフリー化の解消や周辺施設の集約などを通じて鉄道をはじめとする公共交通ネットワークを強化し、駅周辺を中心に都市再生整備を行い、生活に必要な機能を集積させ、これまで以上に住みよいまちにしてまいりたいと考えております。

また、今年、町制施行120周年やアメリカ・ケンブリッジ市・ブラハム市との姉妹都市提携30周年、重伝建地区選定10周年、第40回湯浅まつり花火大会、広報ゆあさ第500号の発行など記念すべきことがたくさんあります。

それに伴い、人気テレビ番組「出張！なんでも鑑定団 in 湯浅」の公開収録やサマーフェス

タ、ハーフマラソンなどを予定しており、素晴らしい時間を、大勢の方々とともに過ごせるような様々なイベントの検討を重ねているところです。

さて、本定例会に上程させていただきました案件は、議案30件であります。

条例関係の主なものでは、行政不服審査法の施行に伴い、公文書開示などにおける手続きを見直すことや地方公務員法の改正による職員の人事評価制度の導入に伴う対応、国民健康保険税における医療分の資産割を支出額に見合う設定とすることなどによって、実質的な負担の軽減を図るもの、また、職員の給与改定や消防団の年報酬の見直し、学童保育所の指定管理者の指定などがあります。

続いて、民事調停についてですが、これは、平成25年8月に発生した健診事務に係る事故について、調停を成立させるためのものです。

次に予算関係であります。平成28年度一般会計予算は、町税など一般財源が減少する中、経常経費の抑制を図りながらも、先に申し上げましたとおり、夢と希望と活気に満ちたまちを創造するため、町制施行120周年記念事業などに係る費用や旧庁舎跡地を有効活用するための整備費用、コンパクトなまちづくりを進めるための計画策定費用などを計上させていただきました。

また、子育て支援をはじめとする福祉事業や防災対策など安心して暮らせる住みよいまちの実現に向け、ため池改修工事や港団地の耐震補

強工事、田地区避難所への非常用飲料水変換供給機設置工事費用などを計上しております。

今年の予算総額は、約56億9千万円です。依然厳しい財政状況ではございますが、人口減少に歯止めをかけ、長期的に安定した都市経営に向けた礎となる施策を講じるため、昨年度と比べ約2億3千万円の増額の積極型予算を編成いたしました。

一般会計の他、国民健康保険事業特別会計を含む7特別会計におきましてもそれぞれ年間経費を見積り、新年度予算を上程させていただいております。

次に平成27年度一般会計補正予算であります。低所得高齢者に対する臨時福祉給付金の支給をはじめ、全国各地から大変好評をいただき、増額しているふるさと納税をより一層拡充するための費用や賑わい創出を目的とした地方創生加速化交付金事業、町道の改良工事、漁港施設の長寿命化に必要な計画策定費用などを計上させていただきました。

その他の主なものでは、給与改定による人件費増額分や番号制度対応に必要な経費などを計上しております。

このほか、特別会計においても必要に応じ、補正予算を上程させていただきました。

各案件の詳細につきましては、関係課長から説明させていただきますので、議員各位にはご審議のうえ、可決賜りますようお願い申し上げます。